

## 地域人材ネット

### 奥尻島地域再生プロジェクト

篠崎 宏 (しのざき ひろし)

JTB総合研究所 コンサルティング第一部  
コンサルティング第一部長兼主席研究員



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

東京都千代田区

##### 略歴

1990年北海道大学経済学部卒、JTBに入社。海外旅行支店、北海道営業本部を経て、JTB本社事業創造本部地域ビジネス事業部チーフプロデューサーに就任。2007年4月からJTB総合研究所。地域観光戦略、地域ビジネスモデル構築を手がけるコンサルタント。観光マーケティング調査、食・農業に関する活性化モデル構築、長期滞在・移住ビジネスに関するモデル構築なども多く手がける。

- ・農林水産省・食料農業農村政策審議会委員(2010～2013年)
- ・全国商工会連合会観光専門家(2008年～2013年)
- ・新地域再生マネージャー(2011年名寄市、2012年中標津町、2013年奥尻町)
- ・農林水産省・「食」に関する将来ビジョン検討本部民間委員(2010～2012年)
- ・経済産業省・中心市街地商業等活性化支援業務有識者委員(2012年)
- ・奥尻島観光アドバイザー(2008年、2009年、2010年、2013年)

## 著書・論文等

- ・新たな観光財源モデルへの提言(週刊トラベルジャーナル2013年6月3日号)
- ・キーワードで占う2013年・日本食文化元年(週刊トラベルジャーナル2013年1月21日号)
- ・観光産業の今後～国、自治体、企業、団体の役割とポイントは～(週刊トラベルジャーナル 2011年1月17日号)
- ・地域が挑戦する新たな社会インフラの構築と資金循環モデル(地域政策研究52号)
- ・観光立国実現への課題～「交流型など新モデル模索」(日経MJ2010年7月12日号)
- ・観光立国実現への課題～「北海道観光の魅力と課題～21世紀型情報戦～」(日経MJ2010年5月24日号)
- ・北海道再建への戦略(共著／北海道新聞社2007年)

## ○ 奥尻島地域再生プロジェクト

### 取組の内容

2008年に震災15周年を迎えた奥尻島でスタートした3カ年計画の地域再生プロジェクトで観光開発&特産品開発を行いました。観光開発では15の体験プログラムの開発および観光ルートとしてフットパスルートの開発、特産品開発は奥尻島の新たな食として奥尻ブイヤベースを開発しました。あわせて観光推進組織として「奥尻島観光協会」が立ち上がりました。

2013年は新たな地域再生プロジェクトとして「奥尻島将来への2つの礎事業～新たな資金循環モデルの構築～」をスタートしました。概要は下記になります。

(奥尻島将来への2つの礎事業～新たな資金循環モデルの構築～)

#### ◆観光基盤強化

①観光協会および観光施設の情報発信力強化 ②防災教育プログラムおよび視察プログラムの受入体制強化 ③スポーツイベントの誘致(伊平屋ムーンライトマラソン) ④観光人材の育成 ⑤観光財源基盤の強化

#### ◆奥尻ブランド商標化・特産品販売の強化

①奥尻島ブランドロゴマークの商標化 ②奥尻島観光協会のミニ商社機能構築 ③奥尻島ブランド特産品のインターネット販売構築(アマゾンジャパン) ④チーム奥尻の立ち上げおよび社会課題解決型商品の販売 ⑤6次産業化推進および高付加価値商品の開発

### 実績

2008年からの地域再生プロジェクトの実績・成果は以下が挙げられます。(最新の通年データ)

#### ◆奥尻島体験観光プログラム

- ・あわび狩り体験 2012年度売上1,150,000円／386名
- ・奥尻フットパスガイド 2012年度売上530,000円／1,076名
- ・水産加工体験 2012年度売上30,000円／24名
- ・防災教育プログラム 2012年度192名

#### ◆視察

- ・2012年度1,093名

フットパスコースはガイドコースの3倍強の観光客が歩いています。防災プログラムおよび視察は2012年度までは無料で受け入れてきましたが、2013年から有料化を実施します。奥尻島観光協会の常勤雇用3名体制も実現できました。

## 工夫した点や苦労した点

宿泊事業者から漁師まで幅広い地域コンセンサスを得るために常にわかりやすい言動や資料作成に注意をしました。苦労した点は、努力をした結果が出始めたところにフェリーが減便になってしまった点です。離島の入込は交通の導線の太さが命運を握っていることを痛感しました。

## ひとことPR

離島は30年後の日本社会の縮図と言われています。世界の離島である日本は30年後にどのような姿になるのでしょうか？奥尻島が抱えている現在の課題に対して構築した課題解決モデルは、30年後の日本社会でも有効に機能するはず。奥尻島では、奥尻島および日本の将来に向かって、新たな資金循環モデル「奥尻島将来への2つの礎事業」の構築を進めています。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

JTB総合研究所	<a href="http://www.tourism.jp/consultant/shinozaki-hiroshi/">http://www.tourism.jp/consultant/shinozaki-hiroshi/</a>
----------	---

### 連絡先

メールアドレス	shinozaki[アットマーク]tourism.jp	その他	
---------	-----------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る